

村上栄二 HP  
「村上栄二しんぶん増刊号」  
<https://murakamiejicom.jimdo.com>



こちらのQRコードからもアクセスいただけます。



# 2020

4年後のことを言うと、鬼も笑えない。

FUKUYAMA

Eiji Murakami presents

新年あけましておめでとうございます。

先月福山市で政治に関わってきた先輩から「経済レポート読むけど、もう少し分かり易い言葉で伝えてみてはどうか？」  
2018年度は偶数隔月連載とさせて頂き、福山市に根深く介在する諸課題をより深く調査・分析・考察し、ご報告申し上げます。  
今号につきましては多くの方から聞かれる「政治の原点」のお話をさせて頂きます。

2010年何をしてもうまくいかない時期に纏めた言葉。

どん底は底に落ちた時ではなく、落ちている最中がどん底だった体験。

そんな時にシンプルにできた指針

「子供が笑顔になる事・子供の未来を裏切る事のない人生を歩もう」

未来を笑顔にする事だけに自分の信念を持つ事にした。

このお手紙はもう7年経つが片時も離さず持ち歩いている。

村上栄二の原点を新年である今号で伝えられたらと思います。

## 『大切な3人の我が子へ』

いまは2010年。お父さんは32歳です。

日本には特に戦争もなく、食べるものも十分にある。

よその貧しい国に比べれば、とても豊かだといえるだろう。

しかしいま、この国の人たちがみんな幸せかと聞かれたら、必ずしもそうではないと思う。

たくさんモノがあふれ、おいしい食事はそこらじゅうにある。

便利なことやスピード・安さに、みんなが魅力を感じるようようだ。

暮らしそのものは、とても快適だけど、どこか虚しいと感じるのはお父さんだけではないだろう。

「心がとても貧しいと思う。」

多く人は未来に希望を抱けなくなりつつある。

こどもたちは無邪気に笑っているけれど、その笑顔がいつまで続くのかと思うとお父さんは不安でならない。

君たちが大人になったとき、この世界の人々の心がもう少し豊かであってほしい。

生きているのが楽しく幸せであってほしい。

大人もこどもも。

お父さん一人でできることは、たいしたことではないかもしれない。

でも、お父さんは君たちが生きていく世界を少しでも変えていきたくて、仲間を集めて新しい活動をはじめることにしたよ。

すべての子どもたちがいつまでも笑っていられるように。

君たちの子どもも、そのまた子どもたちも、ずっと幸せでいられる日本であるように。

今まで多くの先輩たちに作って頂いた平和と日本。そして福山市。

既得権と呼ばれもするが、ルールと秩序をもたらしてくださった事も現実。

しかし、少子高齢化を迎え、多くの人たちが変えないといけないとわかっていながらも生活が懸かる現実と共に変える事は出来なかった。

市長選挙に挑み、昨年多くの方から「市長になるには？」のアドバイスを頂いたが、目的は「福山市の市長になる事」ではなく「福山市の未来を変える事」で在り続けるために。

これからも完全無所属で頑張り続けていく所存です。

本年も宜しくお願い致します。